唐土訓蒙圖彙

禽獸 十三

内閣文庫

和書	
類	一一一三四
號	一五
册	一八四
函	二三
架	

太政官文庫

和書門	
號	一一一三四
册	一五
函	二二七
架	一の

内閣文庫

番號	和 11134	
册數	15 (14)	
函號	184	360

典故

国立公文書館
National Archives of Japan

明治十二年購求

唐土訓蒙圖彙巻之十三

名下ハ和名ヒ附

禽獸

此部ハ山川林野原の產する不ん
もの乃ちそ鳥獸ハ

鸞鳳 祥鳥の王なり風の王なり
紫多ー國語ハ周のおうなり
岐山ハ山の名

世樂鳥 南方ハ五ちう
丹喙赤首ハ冠あり王者明德あらく
天下太平なる時あらわる

国立公文書館
National Archives of Japan

秦吉了

形鸚鵡に似て色白頂の毛絡あり人乃髮のごとく舌乃しわむ乃如の兒女のごとく秦吉了は丈夫乃ごとし又一名ありそを鸜鵒と名づく肉冠ありて人の耳のごとく肉冠ありて人の言葉を學ぶ

鵒鳩

一名鉄鵒鳩といふ形鳥のごとくそのとく逐人三月ゆく農人必て候と次

甘蔗鳥

形ほゝ鸚鵡に似て小しあれども能言語を学ぶ交趾にいでる

海東青

此鳥海東に出て海を越てその地にうつるなりそのみて性隼の如くして鷹鳥の如き義仁の性あり故に鷹の類といふべしといふ

鷹鳥集

別家圖彙にあり故ここに載せず

鵰

此鳥性ほゝ義あり之風雨をさしさへぎりこの樹にふるとと以て鳥のこゝろとわるくめ見ないとりてこのふるとと微し放てその鳥乃乱れざるくその日やんといへり

秋鳥

一名ハ秋老
鶴のごとし
翼ハ扇ニ
五六尺ニ
わたれハ六七
尺長頸赤
目赤項ニ
皆毛たし
足ハ鶏の
ごとくニ

鵠鴣

水禽ニ大さ
孔雀の嘴
長尺餘ニ
口匂り赤冠
の〳〵二年
糸と入こ
酒壺ニ化
物とくらん
木菓と食ス
翡薫住
香ニ似り

雞

項金色ニ
嘴紅ニ形
詹ニ類ス
其色ハ彩
の〳〵三月
三日ニ
生て九月
鳴ハ聲雷の
ごとし

鶴鳥

鶴ニ似て
ちゝ白色ニ
頸長く喙
赤く九辨
啁啾
ごとく
恋ニ
鳴

鷸鴟

狀ハ鶴の
ごとくニ
鳥の類ス
吳中ニ
田間ニ
生ス

陽鳥

鶴ニ似て
殊ニ小ニ
身黑く
頸長ク
て
玉

玄鶴

その色玉
ニ似て
音樂の器
わるはハ至
ひとし黄
帝樂を
崑崙山
ニ
ひゝ
鶴
花へり

旋目

大さ鶴ニ
如ク
みゝかく
白色ニ
目の旁の
毛もして
旋ル文
選上林賦
ところを
のべ

方目

水もとの頭白く白肉冠あり足の指鴨に似くひらく足まるしひるに大小あり

蒼鴻

善高く飛て鶴に似くこゑ蒼白なり月相數なしてなむ吐てまをうむ

白鷗

鷗の類なり其の色白く形ハ鷺よりもちいさし海の中にひとり居るこゑ鶴に似たり

蜀王

水鳥し鴨に似て大に長頸赤目紫紺鶏鶴に似たり漢ろ觀名

鵰鳥

鷲鷹に似て白し人漁て自鷲鷲に比する能く風に乗て水の首をよく舟の上に鵜なり

鴉

鳳に似て後指かし豹文あり鷙鳥に遇ハ巣を激して巣を御示し

鵜鶘

一名鵜河一名鵜澤水に沉て魚とる鷺鷺に比する形鶴に似て大に灰色なり

信天翁

狀鵠に似く喙長し水際にをて魚とる

鶺鴒

水鳥雁乃屬長頸緑色ニ飛鷹ニ似テ其羽裘ハ一種狀異乃ごとく稍大ニ足短く指羽ニ似たり

翡翠

ニ似テ稍大なり水邊に居て魚をとる或ハ冠有て灰色ニ黛紫の斑あり或ハ赤斑ありて後の毛ハ赤もあり

嗽金鳥

昆明國ニ出ル形雀ニ加く色黄ニ魏の明帝の時未央殿ニ獻ス真珠と魚鱗と飼ハ常ニ金屑を食く

鵰

形ハ雀ニ似て尾長しぬく葦の皮と割て其中の蚓と食ス巴ス月の間多し和名抄

蒿雀

麻雀ニ似て黒色つゝ蒿の間ニ在る故ニその名あり云と食て諸雀ニ美なり

突厥雀

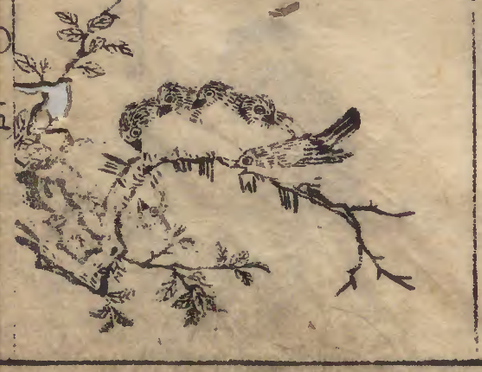
大さ鶏の如形雌雄ニて鶏ニて後趾ふし尾い短ありあのとめて群ん飛ん

黄鳥

形鸝鵒よりハ大ニ毛羽黄色し尾ニ黑色相まじり眉長く嘴尖リ脚赤日なくてひをとハ

繡眼兒

形ふるし月白く月の如くなる目ハ赤し頭ハ黑し背ハ綠色なり



鵲

鵲ハ小ク高ク本ニウツテ中ニ巣ヲ作リ射候ヲ
ミテハ此ヲ以テウツトスルハ非シ

正

正ハ形ハ鵲ニ似テ飛ブ疾シ故ニ射候ヲ畫ケバ
ヲレト射ル

反舌

春始テ鳴テ五月ニ至テ止ム
ヲ反易ル百鳥ノ鳴ヲ效ヒ又百舌鳥ト名ク

杉鶏

形鷄ニ似テ體ノ如ク黑ク斑ノ文アリ冠ハ赤色ニシテ蘇芳ノ如シ杉樹ノ上ニ居ル

民俗母ヒ

大サ鶏ノ如ク黑色ニシテ南方池澤ノ茄蓮ノ中ニ生ル其色人乃吐ヒタルニ似タリ其ヒ一二升ト吐ク

鵰朝

その形ハ鷲ニ似テ自鵰ニ似タリ尾ハ風俗ハ總体の如シ あの毛朔ヨリ多クシテ毛の受

鳴鶴

その形ハ鳥のごとくにして長く赤色ヒトリ
ヒ大ニ樂シム

鵺

青要山ニ鳥アリ狀鬼ノ如シ身ハ
シテ赤尾ナリコレヲ食ヘバ子孫ヨ宜シ

華蟲

[illegible]

鵠雞

雄ニ類シテ大ニ美ク黒色首ニ毛角ヲ冠ノ如シ性ヲ堂ヲ[illegible]ヲ[illegible]テ死ス[illegible]

當尾

その[illegible]ち雉子のごとくして尾ハ芭蕉ニ似たり人食ハ目[illegible]

潔鉤

その[illegible]ち鳥のごとく尾ハ鼠ニ似たり[illegible]

鵬鵬

鳳ニ似テ神鳥ナリ郁離子曰南方神鳥ハ五彩ニシテ鳳ノ形ニ[illegible]

鶡鳥

鶡ニ似テ不祥ノ鳥和名ヒヲトリ狀小ニシテ雉ノ[illegible]ク体ニ文家アリ

按ルニ北越ニイハルサケビ[illegible]

精衛

神農ノ女女娃ト名ク昔東海ニ溺レシ化シテ精衛ト名ク西山ノ木石ヲ收テ東海ニ填ルトイフ

青鵲

その[illegible]ち鵲のごとく白冢白首白尾ニシテ喪ヲ樂ヘリ[illegible]

雕

その爪ハ
つくらうの
のごとく面
人ごとく
目ハあり
ふくろう

飛簾

於雀ニ似ハ
鳥なれども
鹿なり風
俗通曰飛
簾神雀
ハ風雨
を致ス
いなり是し

鵰

その爪ハ
鵰のごとく
一首にして
三分
文
頸ハ

鵰雀ニ似

その爪ハ
鶏のごとく
三首にして
足鳥
そなん
尾長

鶻鴿

見し鬼車鳥
天陽ヨリ
ツタフ車のごと
くにして
人の魂魄
と收ひ一首天
物のごとく
人の魂魄
滴てやまず
人犬と
なりてもうす

治鳥

大さ鳩の如
黄色にして樹と
穿て巣とつ
くる大さ六
体入る所の
穴にハ赤白相
同て射侯の
ごとし伐木者
色と避されハ
あることなし

寒號蟲 五靈脂

ごとく狀小鶏
の如し四足
翅ハ多く
月毛采五色
自ら鳴風屋
を多くもつ
しかるに
久しくして
毛落て裸と
なりこれ過
且過と號す

石蒜

乳穴石洞
の中にあり
狀鞭
似て
方
石のごと
の石遊ハ
わるし

芸窓日永して讀耕の傳を書冊に拙して宰予と学ぶ
とは孔子の家あり桑樞と啓て入る寒暖畢て後机上の冊
猶と撰て閑て禽祇と揖て嘆し旦怪こて曰
今此図のごとき人論あり未猶ほ多くの人
多くの多くれ共亦彼大鵬のごとくは壯周既に抱
王垢探て圖に今まで載さらは遠志ありまや
將疑しまと國う請う其後と国に予佛然として
曰宗伯必大鵬とは夫鸞鳥は禽中と靈表て
して聖代に出て岐山に鳳なく雖言は人中に聖賢たるに
大鵬は禽中の怪物小海に出て九天と嘆く程人中に
壯老たるあり説皆古今誕荒唐なり故に今毒を
屏て疑を闕て惟その質の知やはくして未圖をもらら
もろと世の希有にして圖をもて地に流るるて出るに
是も亦路物彫理乃一助なるものに況又王垢も知て
圖まれるわれを説も亦軒渠すべしこれを宗とし
やうとなくしてもル予後書と孫て日の西まるとを知

麒麟

土獣なり信にして礼に應じ狼の額赤き目五の蹄仁と含み義と懐き音鐘呂に中て行規矩にかなふ

龍馬

馬八尺以上を龍と云昔伏羲の河より出る図を背に旋もあり
つまり天子に伏羲あれこれて八卦と畫し
ときはいまの河圖なり

白澤

東望山に沢獣あり能言語王者德幽遠と照に時に至る黄帝巡狩し東海に到る時此獣言語

果然

仁獣也猿に
大さ三尺体三尺
すべて鼻孔
天にひらく西に
向て木上に住
尾長く臭とふ
くさく毛長く
柔に白黒文を
〇天子衣衣十
二章にあるこの
宗彝なれし

金猊

形獅子ニて其性火烟をこのむ故香炉の蓋乃上ニ造つ世ニ獅子乃香炉とハいわゝれり猊なり

類

狀ハ猩のごとくして髪あり牝牡とも共ニ人ニ向ひ笑ふごとくなれば姑まゝ

三角獸

西凸山ニ三角獸あり すれこれ瑞獸なり 先王法度脩明なる時ハ出る

角端獸

東山ニ一角獸あり瑞物なり六合天下四しく太平なれば出るなり元の時出るといへり

檮杌

獸の至て惡者し圖とぬく死とも ゆるさぬ狀ハ虎のごとく毛の長三尺人面虎爪ロ牙天八尺人を食

貔

虎の屬し 白林の白ふ獸と交わる 柳文曰貔ハ虎となれ 虎ハ熊を畏るゝなり

貔

豹の類なり 猛獸なり 豹國ニ出て詩經曰獸其貔皮陸機曰貔ハ虎ニ似たり或ハ熊ニ似たりといへり

赤豹

眷山ニ多し 虎ニ似て文采あり毛赤し毛詩宣王の詩ニ赤豹黄羆とあるこ

海豹

その形さ豹のごとく身に五色の文あり水涯にあつまりあるを一列の豹とす ちらしの書に海豹水を今和名アザラシ

海牛

その長さ丈餘あり紫色にして角かしらに長い毒の如く尾は鮫乃ゆえ一人とられ死て海へ入り

犬

狀牛の如くして角をしらひとつあり ひとり黄帝是を殺して皮と鼓とし骨と桴とす 是を以て百里聞こゆ

齧鐵

その狀牛の如 牛の尾に毛ありて長さ一丈餘 牛の後を食ひ水を飲 糞と共に砂を利と鋼乃

水犀

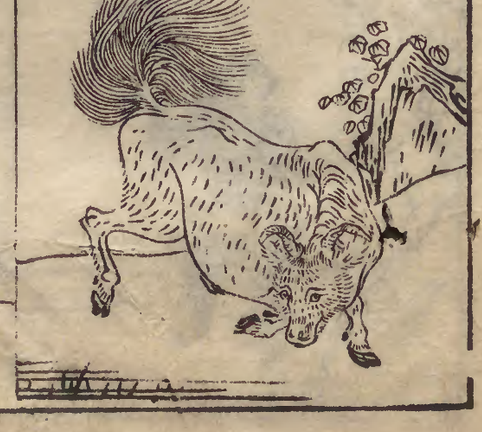
犀に数種あり山犀は三角 水犀は二角 一角のみて靈あり通天の通天とは通天ある者はこつこつ教とかくして通水とのみて地下に入 今圖するは一角にして珠甲あり水犀

兕（犀の牝）

禱過山に多し狀野牛の如く色一角長三尺餘 馬鞍を乗る身の重千斤 其皮厚く澁と制へ

犛牛

西南夷の長毛牛と牛に似て四蹄腰下及び肘臂赤毛の長尺餘あり尾長く大さ斗乃至車蓋あり 天子の旄と以て旄を作る



犛牛

狀牛の如 体もく多力 しく毒とのべ 髀膝尾背 脛下黑毛 尾もし 古人これを旌 能し自色 なれば 尾を以て

四熊 くま

狀熊に似て白文あり長頸ながく大なる脚なし性猛惡多力人のくらえて人を害す

玃 やまと

色黑く毛長く能人を攫持て長七尺人のごとく行て速なる或猿大百歲を去ること云

猩 しやうじ

狀猿に似て黑く舞わり性能く舞と理ぬべし又酒を飲こと愛する故こと百人をもてなす

獼猴 ましこ

猴の屬なり毛多くして腰白し常のごとく赤き毛わり白色にして握版の狀捷しと云なり

野干

狀本狐に類し頭正しき方にして人に似たり髮の長尺餘常に長き時面と手脚人のごとく尾のごとくなり

獨 ひとり

形猿に似て大なり よく猴猴とともに一族なり 猴猴に類して獨りとなり

蒙頌 もうしう

狀ハ雉ム小なるものの如くして毛色交趾より出つ これと蓄て氣をとらしむ 猫の類

魍魎 もうりう

狀三歲の小兒の如し 赤黑色目赤く耳長くして髮 川澤の神なり

赤貍

西海にあり周文王の姜里に囚るゝ散宜生是を獻じて西伯の難を救ひ給ふ

風貍

形狐に似たり尾短し能く風を飲て樹上に居る人これを捕ふるのこと能はず風と落ちくれば人これを捕ふ

桑黃

西海の外白民國にあり白身髮と被り狐狸のごとし其背上に角あり是れ壽二千歲

玄貒

滲淝澤にあり玄貒あり穆天子是を得て河宗氏に授る周禮に貒貉と云へり此地氣を受て生ずるといへり

天狗

張山に獸あり狀狸の如く白首蛇を食ふ其音猫の如し是を佩て山獵へし

貂

胡犬に似て狐に似ず喙黑く足くろし能く狐兎を捕ふ手を以て毛を拔き手を以て毛を拔き君子皮を衣て表とす

犾

玉山に獸あり犬の狀にして豹の文牛の角あり犬の如くして吠ゆ時に出る時は天下大に

黑狐

北山に黑狐あり神獸にして王者能太平を致時は此獸あらはれ四夷來貢ず周の成王の時いつる

麂

麞の類にして牛にたる虎のごとく四足ともに白く毛ありて角なし

茶百机

その狀鹿の如くして白く毒草を食らふ○又一名ハ狀麞ともいふ

挑拔

鹿に似て尾長く角ひらあり又ハ天祿といふ西角なるものと辟邪と一名扶拔

麈

鹿に似て大なり其尾ハ麈と辟く茜帛を中に垂て黑くして黑色と黯さむといふ

比肩獸

西方の獸なり狀鼠に似て後ハ兎し一名ハ恐蹶

隱鼠

大さ牛のごとく形ハ鼠に似て鼠ハ象に似て蹄を踏て毛ハ麻の如し尾上白色を加へたり

狡兎

狀兎の如し雄ハ黃に雌ハ白し丹石銅鐵を食らふ昔呉王の武庫の兵器を食ふ故に名とす孫中尉傳曰ふ

碩鼠

形ハ兎に似て眼赤し夜ハ青黃色にして夜ハ白し色にして晝ハ白し

和名ちごうさぎ

天馬

馬成山は獣あり狀白犬の如くして頭ハ羊の如し人とこゑ聚らんとすれハ飛び獣を捕らんとすれハ豊穣し

猫狗

南山は獣を能く似て毛彩ハ澤あり

こゑ金鼓の如し

矮爬狗

番國にいぬ〻ら獒に似て脚ハ短かく身あるく尾まくりその長さ八寸たらず一名拂菊狗馬鐙狗哈叭狗

木狗

狐狗の如くしてその色ろしくあるのかくこゑ皮とるもあき皮ハ氣血をめぐらす

筎犬

天門山は赤犬あり天狗の星を見て流泥して生ず生すれハ水旱を風のごとく雷の如く光電のごとし梁雅

諸犍

單張山にあり狀豹の如くして尾長し皇牛の如目直しかとれハ尾をかくミ張らハ内を輪

當庚

欽山中は獣あり狀豚乃めし其鳴こと自らうぶ天下大平穣る

羱羊

狀ハ羱乃ごとく黄身白首皇尾なりこゑ大ニ風ごとく

国立公文書館
National Archives of Japan

猛裂

譙明の山に獣あり狀貌ちんに似て赤毫あり以て鼠ちんに

鹿蜀

柱陽山に獣あり狀馬の如く白首虎文あり尾赤く珍璮人此皮を以て冠子を飾る

臛陳

華山に獣あり狀犬の如く馬首にして角あり以て石を錯へし

騾 駃騠ト同シ

駿に似て馬にあらず蕃中玉の産する所わ国匈奴乃奇畜なり

龍馬

南海の外にあり狀馬の如くして鱗ありて毛なし

果下馬

此馬海南に産して高三尺に過ぎず極て小型なり乗ればいとわく果下とも云へり名付く和名云トサコマ

山驢

獣の名形ちく角八羚羊の如し但羚角より大なり

海驢

狀駝の如しつよし狀犀の如くして乳皮ハ制して馬具とす和名トド

国立公文書館 National Archives of Japan

羱羊

西方の野羊狀驢の如其角甚大し夏の時麓に居て冬の角上に生ずれといまだ詳ならず

封羊

形羊の如して脊の肉こぶ駝れば故に駝羊ともいふ

藏羊

華山に獸わり狀羊もて尾ハろのごとし羊の大なるもの

脂へ皺と

[illegible]山に獸わり狀羊の如くして色白し其性頑狠人敬へる

葱聾

符遇山に多くこれあり羊に似て髯ありて首くゝ

一封駝

形い駝に似して脊上に肉こぶおこりて一封表乃こゝ俗これと封牛といふ

野婆

南丹波に出つ黄髮髣髴跪て坐す稍高し猴に似て皮毛黄赤勝り文ハ蒙茸に似る男子と負て配とす

山獠

西方獠山に人あり長七尺猴に似て能蟹を捕て人に与ふ食ハくらふこれを化せて人を熟と為ハ長毛山魈の如し

国立公文書館
National Archives of Japan